

2025 年 4 月 25 日
株式会社パーソル総合研究所

「はたらくソーシャル・リスニング（24 年度下半期）」を発表

「103 万円の壁」が前年比約 1,390 倍—制度疲労と“働き控え”のリアルが SNS にあふれる
「通称使用」「ドナー休暇」も上位に。ソーシャル・リスニングで浮き彫りになる“はたらく制度の限界”

株式会社パーソル総合研究所（本社：東京都江東区、代表取締役社長：岩田 亮）は、生活者の生の声をもとに「はたらく」トピックスのトレンドを可視化する、「はたらくソーシャル・リスニング（2024 年度下半期）」を発表いたします。
（分析対象期間：2024 年 10 月～2025 年 3 月）

本調査では、SNS・ブログ・レビューサイト・掲示板など、国内 10 万のソーシャルメディアから取得した「はたらく」に関する投稿（サンプリングデータ）を定期的に分析。今回の調査で最も投稿増加率が高かったのは「103 万円の壁」で、前年同期比約 1,390 倍という圧倒的な伸びを記録。制度変更に対する期待や、“税負担の軽減につなげてほしい”という複雑な声が投稿から浮かび上がりました。

データ取得先：X、Youtube、各種ブログ、掲示板、各種ニュースサイト、レビューサイトなど
日本国内10万ドメインのデータベースより投稿データ（サンプリングデータ）を取得。
24年下半期の投稿数が5000以上のトピックに限定。

■ 2024 年度下半期の投稿増加率上位ワード（上位 5 ワード）

順位	ワード	2024 年度 メンション数	前年同期比・ 増減率 (%)	解説
1 位	103万円の壁	3,251,000	138,340	配偶者控除に関連する所得制限「103万円の壁」について、与野党の間で、見直しの議論が活性化。労働力不足が深刻化する中で、収入が一定額を超えないように働く時間を調整する、いわゆる就業調整を防ぐ狙いがある。
2 位	通称使用	788,300	17,916	通称使用とは、法的な氏名（本名）とは異なる名前を、日常生活や社会活動において使用することを指す。選択的夫婦別氏制の導入を巡る問題が活発化し、それに関連付けて通称使用の取り扱いなどについても議論が盛り上がった。
3 位	ドナー休暇	18,600	3,720	骨髄や末梢血幹細胞を提供する際に、従業員が特別休暇を取得できる制度。ドナーとして選ばれても、仕事の都合で提供を辞退するケースが多く、厚生労働省はドナー休暇の導入を推奨・啓発しており、企業における導入も一部で広がりを見せている。
4 位	106万円の壁	309,150	3,595	「103万円の壁」と同様に一定の条件で社会保険（厚生年金・健康保険）に加入が必要になる「106万円の壁」についても、見直しの議論が起こっている。企業の負担も減らすための助成金制度なども検討されている。
5 位	ソーハラ	10,100	2,020	「ソーシャルハラスメント」の略称で、SNSを通じた嫌がらせや不適切な行為を指す。上司が部下のSNS投稿を逐一チェックしてプライベートな活動に干渉したり、友達申請やフォローを強制するといった新たなハラスメントの形が話題に。

※メンション数：該当キーワードの投稿回数。1 回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント

■ 分析コメント

2024 年度の下半期も、多様な労働関連のトピックが人々の間で注目を集めた。

目立ったのは、社会保険料や所得税負担について、与野党の間で、金額見直しや撤廃の議論が活性化し、関連ワードは急激に話題を集めた。そもそもの制度の複雑さも手伝って、解説記事やコメントも大量に投稿された。労働力不足や物価高が進む中で、社会全体に大きく影響を与える制度変更であり、25 年度も引き続き議論は活性化しそうだ。

昨年度から連続して上昇してきたのは、「**人手不足倒産**」（18 位）である。コロナ禍の各種補助からの反動や、建設・物流業界の労働時間制限が開始されたこと、その他人件費やコスト上昇により、倒産数が大きく増えてきている。成長分野への円滑な労働移動が叫ばれる中で、倒産した企業からの労働移動が実際にどう起こっていくかも実証的検証が望まれる。



パーソル総合研究所
主席研究員 小林 祐児

「**ジョブ型**」や「**賃上げ**」、「**春闘**」については、昨年ほどの話題にはならず、世間やメディアの熱としては冷めてきている様子が見える。その一方で、企業の動きとしてはそれぞれ続行している事柄であり、トレンドとして消費せずにはしっかりとした追跡が必要だ。

■ 2024 年度下半期の投稿増加率上位ワード

2024 年度下半期において、前年同期からの投稿増加率が高かったトピックは以下。

<6-10 位>

データ取得先：X、Youtube、各種ブログ、掲示板、各種ニュースサイト、レビューサイトなど
日本国内10万ドメインのデータソースより投稿データ（サンプリングデータ）を取得。
24年下半期の投稿数が5000以上のトピックに限定。

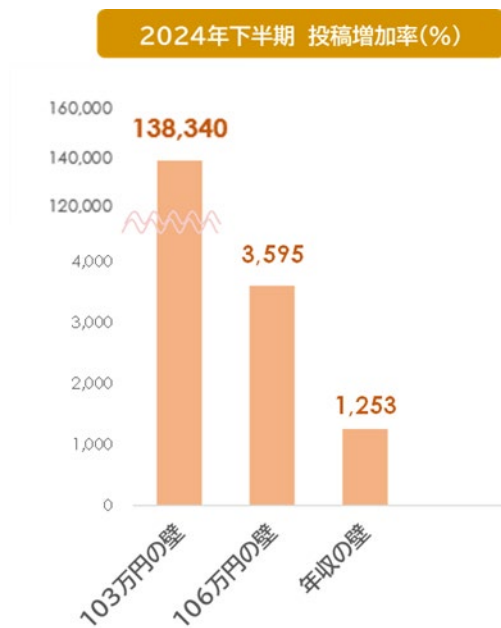
順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)	解説
6位	通勤手当	669,650	1,579	財務省の税制調査会において、通勤手当の非課税措置の見直しが議題に上がり、一時的に話題に。防衛費や少子化対策の財源確保の一環として、これまで非課税とされてきた通勤手当に課税する案が浮上。
7位	年収の壁	1,304,800	1,253	「103万円の壁」「106万円の壁」と同様。
8位	休業支援金	10,800	1,029	2025年4月より「出生後休業支援給付金」がスタート。共働き・共育てを推進するため、子の出生直後の一定期間に両親ともに14日以上の子育て休業を取得した場合に、最大28日間支給される。
9位	スモハラ	10,250	976	「スモークハラスメント」の略称で、主に職場において、喫煙者が非喫煙者に対して喫煙を強要したり、たばこの煙にさらすなどの嫌がらせ行為を指す。喫煙者が非喫煙者からの圧力や配慮要求に対して感じるハラスメントを「逆スモハラ」として話題に。
10位	ガラスの天井	123,750	831	能力や実績にかかわらず、性別や人種などを理由に昇進やキャリアアップが阻まれる見えない障壁を指す。

<11-20 位>

順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)	順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)
11位	ポジティブ・アクション	12,150	810	16位	マイクロ・マネジメント	32,050	398
12位	オワハラ	12,050	753	17位	人事管理	14,000	384
13位	ゲーミフィケーション	36,400	495	18位	人手不足倒産	74,650	383
14位	スポットワーク	16,500	423	19位	スキマバイト	111,350	381
15位	厚生年金	1,587,000	414	20位	インセンティブ	603,500	380

※24 年度下半期のメンション数が 5000 以上のトピック。メンション数:該当キーワードの投稿回数。1 回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

➤ 24 年度下半期のピックアップ・トレンド①：年収の壁撤廃／見直し関連の議論が急激に注目を集めた。



- ✓ 特にパートやアルバイトなどの短時間労働者において、一定の年収を超えると社会保険料や所得税負担が発生して手取りが減る「年収の壁」の見直しの議論が進んだ。「103 万円の壁」「106 万円の壁」などの関連ワードが爆発的に話題を集めた。
- ✓ 物価高や労働力不足を背景に、順次、年収の見直しが進んでおり、見直し内容や具体的な金額・適用時期などについては、今後も引き続き関心が集まりそうだ。

➤ 24 年度下半期のピックアップ・トレンド②：人手不足倒産・労働力不足・労働力人口の話題が増加。



- ✓ 少子高齢化に加え、観光・サービス業を中心にインバウンド需要が急回復してきており、現場での人手不足感が強まっていることから、「労働力不足」への懸念はますます広がってきている。2024 年度は各研究機関から将来的な「労働力人口」に関連する推計も出され、話題を呼んだ。
- ✓ 特に「人手不足倒産」は、年々増加しており、2024 年度の「人手不足」関連倒産は前年度の 1.6 倍に達し、過去最多の 309 件を記録（東京商工リサーチ調べ）し、深刻化が進む。

■ 2024 年度下半期の投稿減少率上位ワード

2024 年度下半期において、前年同期からの投稿減少率が高かったトピックは以下。

順位	ワード	2024年度 メンション数	前年同期比・ 増減率(%)
1位	内定取り消し	13,000	-76.9
2位	バイトテロ	29,800	-73.7
3位	小1の壁	15,200	-73.4
4位	SOGI	13,000	-72.8
5位	2024年問題	64,900	-71.7
6位	在宅勤務	539,600	-69.6
7位	内定辞退	36,550	-67.8
8位	合理的配慮	50,500	-66.6
9位	インボイス制度	434,000	-65.7
10位	ブルーマンデー	11,150	-64.5

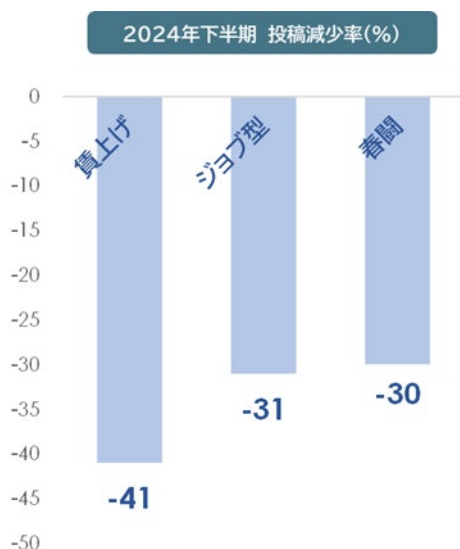
✓ 新卒売り手市場の継続もあり、企業からの内定取り消しは事案としても話題にはならず、大きくメンション数を下げた。

✓ 2024 年問題、バイトテロのような、突発的なイベントに引きずられたものはダウントレンドとして急速に話題にならなくなる。

✓ 出社回帰が進んだことで、在宅勤務は話題としても減少傾向。今後もどこまで下がるかが注目される。

✓ 障害者雇用促進法改正やインボイス制度など、制度の施行タイミングに合わせたワードはその後下がる傾向にある。

➤ 24 年度下半期のピックアップ・トレンド③：ジョブ型、賃上げ、春闘の話題がやや減少



✓ 「賃上げ」・「春闘」については、昨年ほどの話題にはならず。企業の動きとしての賃上げ機運は継続するも、議論の熱としては冷めてきている様子が見ええる。

✓ 同様に、「ジョブ型雇用」についても、一時期の盛り上がり比べて話題は落ち着きを見せている。その一方で職務給や職務等級といった人材マネジメントの浸透は中期的に進んできており、世間の声と実態の乖離が見られるトピックである。

※24 年下半期のメンション数が 5000 以上のトピック。メンション数：該当キーワードの投稿回数。1 回の投稿文中に複数回使われている場合は、複数回分をカウント。

- 本調査を引用いただく際は、出所として「パーソル総合研究所」と記載してください。
- 構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

■ 調査概要

調査名称	パーソル総合研究所「はたらくソーシャル・リスニング／24年下半年」
調査内容	・インターネット上の投稿内容から、労働・組織に関わるトピック・トレンドの現状を理解する。 ・時系列での比較によって雇用関連のトレンドを動的に把握する。
調査対象	■データ収集 日本全国のSNS、ブログ、ニュース、掲示板、レビューサイトなど日本国内10万ドメインのデータソースより投稿データ（サンプリングデータ）を取得。「労働」「人材マネジメント」「組織」「働く」関連のワードが含まれる投稿について分析 ■データ取得先 X、YouTube、各種ブログ、掲示板、各種ニュースサイト、レビューサイトなど
調査方法	SNS分析ツール Quid Monitor(TDSE株式会社提供)を使用し、パーソル総合研究所分析
調査時期	2024年度下半期(10月1日－3月31日)と23年度同期の投稿データ比較
実施主体	株式会社パーソル総合研究所

■【株式会社パーソル総合研究所】<<https://rc.persol-group.co.jp/>> について

パーソル総合研究所は、パーソルグループのシンクタンク・コンサルティングファームとして、調査・研究、組織人事コンサルティング、人材開発・教育支援などを行っています。経営・人事の課題解決に資するよう、データに基づいた実証的な提言・ソリューションを提供し、人と組織の成長をサポートしています。

■【PERSOL（パーソル）】<<https://www.persol-group.co.jp/>> について

パーソルグループは、「“はたらくWell-being”創造カンパニー」として、2030年には「人の可能性を広げることで、100万人のより良い“はたらく機会”を創出する」ことを目指しています。

人材派遣サービス「テンプスタッフ」、転職サービス「doda」、BPOや設計・開発など、人と組織にかかわる多様な事業を展開するほか、新領域における事業の探索・創造にも取り組み、アセスメントリクルーティングプラットフォーム「ミイダス」や、スキマバイトアプリ「シェアフル」などのサービスも提供しています。

はたらく人々の多様なニーズに応え、可能性を広げることで、世界中の誰もが「はたらいて、笑おう。」を実感できる社会を創造します。

問い合わせ先

株式会社パーソル総合研究所 広報 TEL：03-6385-6888 MAIL：prc_pr@persol.co.jp